



2019年1月23日(水)

『社会人のための ITS 専門講座』開催のご案内

主催： 東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター（ITSセンター）

東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター（ITSセンター）では、機械、情報通信、電気、電子、土木、交通等の様々な ITS 分野の最先端の技術を融合することにより、環境に配慮し、安全・安心、かつ快適な高度道路交通システム（Intelligent Transport Systems : ITS）の研究開発を国家・地域プロジェクト、地域・民間企業との共同研究、大学間の連携により、実験ツールの開発、実証実験により、その成果を幅広く社会に還元してまいりました。

「社会人のための ITS 専門講座」は、最先端の ITS の技術開発、実証実験の状況の報告、各研究室を見学していくことにより、ITS 関連の技術開発及び事業化と地域展開に必要な人材を育成することを社会貢献と考え、2004年から毎年開催しております。

本年度の「社会人のための ITS 専門講座」は2019年1月23日に、柏フェューチャーセンターで開催いたします。2018年7月1日に東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構（UTmobI）が発足しました。生産技術研究所・新領域創成科学研究所・空間情報科学研究所の三部局が連携し、自動運転を中心とした革新的なモビリティ研究の日本における最先端の総合的な研究を行うことを目的としています。従来の ITS センターの教員以外に、機構のメンバーからも、講演を行います。

年初でご多忙中とは存じますが、企業・地方公共団体・公設試験研究機関・大学・産業支援機関等の幅広い方々に、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時	2019年1月23日（水）【受付開始】9:00～【専門講座】9:30～17:10
場所	東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 1階多目的ホール 〒277-0871 千葉県柏市若柴 178 番 4 号 http://www.fc.u-tokyo.ac.jp/accessmap/
定員	先着 100 名
参加費	無料
資料代	無料 *資料については参加お申し込みの方に追ってご連絡いたします
お申込み	参加ご希望の方は下記 Web ページからお申し込みください。 次世代モビリティ研究センターホームページ： http://www.its.iis.u-tokyo.ac.jp ※参加申込締切：2019年1月16日（水）



ITS R&R 実験フィールド



大型車用 ドライビングシミュレータ



試験用交通信号機

※これらの施設は千葉実験所にあります、今回の会場とは異なりますのでご注意ください。

プログラム

9:30～9:40	開講挨拶 岸 利治 東京大学生産技術研究所所長
9:40～10:20	「サステナブルな交通システム」 須田 義大 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授
次世代モビリティ研究センターの活動をベースに、新領域創成科学研究科、空間情報科学研究センターと東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構を創設した。本機構の概要と、千葉実験所 ITS R&R 実験フィールド、ドライビングシミュレータを活用したレベル自動運転の研究・開発状況、実証実験の概要を説明する。	
10:20～11:00	「鉄道の自動運転の歴史とIT技術」 水間 肇 東京大学大学院新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻 特任教授
現在は、自動車の自動運転の自動運転の技術発展が目覚しいが、鉄道は1980年代から自動運転を実施しており、日本を含め外国においても自動運転が進展している。さらに、近年では、外国では、無人運転を基本とする地下鉄の導入が盛んであり、日本でも、在来線、地下鉄に対する自動運転（添乗員付き自動運転、無人運転）の導入への検討が開始されている。本講演では、日本の自動運転の歴史を中心に、今後の自駆運転の実用化動向をIT技術を含めて説明する。	
11:00～11:40	「ITSの地域活用・地域実装」 坂井 康一 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授
ICT（情報通信技術）を上手に活用したITS（高度道路交通システム）は、地域の交通課題の一助になり得るものである。産官学が連携して地域の交通課題を解決するためのITSを適用した具体的な取り組みとして、柏市や広島市などの実際のフィールドにおける、プローブデータの活用や公共交通の安全性・利便性向上への取り組みなどについて紹介する。	
11:40～13:00	～昼休み～
13:00～ 13:40	「交通センシングとデータ解析」 日下部 貴彦 東京大学空間情報科学研究センター 共同利用・共同研究部門 講師
プローブデータをはじめとした、近年の交通のセンシング方法とその利活用について紹介するとともに、将来に向けた交通システムの解析方法について論じる。	
13:40～14:20	「観光ITS: 3次元ビジョン技術と地域活性化への取り組み」 大石 岳史 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授
カメラやLiDARを用いた空間の3次元モデル化技術と、複合現実感による仮想空間の実世界への表示技術について概説し、これらの技術による地域活性化に向けた観光と交通への取り組みについて紹介する。	
14:20～ 15:00	「『移動』の革新へ向けたITSセンターの取組み」 大口 敬 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター長 教授
東京大学生産技術研究所の次世代モビリティ研究センター（ITSセンター）では、ヒト・クルマ・インフラの交通・移動の基本3要素を総合的に捉えた分野融合研究と産官学民連携の推進、さらに異なる移動手段の融合も指向して、サステナブルな交通システム実現に向けた研究を推進している。本講では、移動の革新へ向けた、当センターにおける最新の研究・取組みの概要を紹介する。	
15:00～ 15:10	～休憩～
15:10～ 15:50	「超高齢社会における安全な生活移動を実現するモビリティ」 小竹 元基 東京大学大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 准教授
超高齢社会の進展のもと、高齢者の交通事故の低減、ラストワンマイルを目指した高齢者の安全な生活移動の確保は重要な課題である。本講演では、加齢に伴う身体機能と運転行動の特徴を整理し、生活移動における安全なモビリティの考え方とその事例を紹介する。	
15:50～ 16:30	「車内交通信号の研究と実システムへの展開」 中野 公彦 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授
車車間もしくは路車間通信の利用を前提として、自動車車内での交通信号の表示を行う車内信号の研究を行ってきた。交差点到達時の信号情報を、事前にドライバに与えることができるなどのメリットがある。その研究の概要を紹介と、自動運転バスの信号交差点通過制御への応用例を紹介する。さらに、携帯電話回線を利用した、鉄道踏切と交通信号機制御の融合技術を紹介する。	
16:30～ 17:10	「走行中ワイヤレス電力伝送に対応した第2世代ワイヤレスインホイールモータの開発」 藤本 博志 東京大学大学院新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻 准教授
電気自動車はガソリン車等に比べて、1充電航続距離が短いことが課題となっている。この課題を根本的に解決する方法として、道路上に設置した設備から走行中の車両にワイヤレスで電力を送る「走行中給電」の実現が期待されている。講演者らは、道路からインホイールモータ（IWM）に直接走行中給電する第2世代ワイヤレスIWMを開発し、実車での走行中給電に成功した。本講演では、その制御手法、実車実験の結果について紹介する。	

アクセス

東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 1階多目的ホール



駐輪場、駐車場はありません。近隣の施設の駐車場等をご利用ください。